

■環境基本計画の改定方針（案）

現長岡京市環境基本計画の施策体系
環境にやさしいまちづくり
・ 緑と歴史・文化のまちづくり ・ 人が行き交うにぎわいのまちづくり ・ 楽しく歩けるまちづくり ・ 地域ぐるみのしくみづくり
自然とのかかわり
・ 地産地消ですこやかなまちづくり ・ 身近な自然を創る地域住民 ・ あらゆる生き物と共生できるまち
コミュニティを基盤とする循環社会の形成
・ ごみ廃棄物 ・ 生ごみ(有機廃棄物) ・ 化学物質が関わる廃棄物ごみ ・ エネルギー(地球温暖化) ・ 水資源
地域のネットワークづくり
・ 屋根のない学校づくり ・ みんなが先生、みんなが生徒 ・ いきいきワーキングネット

現計画の活用上の課題
進行管理のしにくさの解消と時代即応
● 手厚い市民参加による先進的な計画であった反面、行政機能と馴染みにくい内容も多く含んでいる。 ● 総合計画基本計画が市の行財政マネジメントの基軸となっていることから、同計画の「環境」に係る内容との整合を図る必要がある。 ● 進行管理のために別途策定している「長岡京市環境基本計画実施計画」と一本化させる必要がある。 ● その他、後発の関連計画との整合を図る必要がある。

改定作業当初の策定方針（作業仮説）
方針 1： 超長期計画の改定 ～志しを引き継いで～
方針 2： 進行管理ができる計画へのモデルチェンジ ～バックキャスト型の計画へ～
方針 3： 関連計画・下位計画との整合 ～環境分野のマスタープランへ～

社会・経済動向 策定方針に係る、各調査結果の要点
【社会経済動向】 ○市民等の主体的な参画による地域活動 ○地球温暖化対策と「3.11」以降のエネルギー政策 ○資源循環形社会の形成 ○生物多様性の保全 ○都市・生活環境の改善 ○環境学習の充実 【策定方針に係る、各調査結果の要点】 ◆統計等諸指標 ○増加傾向の人口 ○豊かな西山の緑 ○わずかずつではあるが減少の傾向が続くエネルギー使用量やゴミ排出量 ◆市民意識調査結果 ○西山など、緑豊かなまちのイメージ ○ニーズが高い西山など緑の保全やまちなかの緑の創出 ○次世代に向けられている環境保全の意識 ◆市民まちづくりセッション ○西山の保全や緑の保全と啓発 ○家庭や公共空間での緑化 ○自動車使用抑制や日常生活や事業活動において正しい知識を伴った省CO2 ◆市民団体対象調査 ○団体活動の担い手不足、高齢化等が大きな課題 ○団体同士の横の連携の重要性とその仕組みづくりの模索 ○共通的主题になりうる「子どもを対象にした活動」 ◆事業所対象調査 ○進む省エネや廃棄物・リサイクルの取組 ○地域の清掃活動をはじめ、環境教育に取組む事業所等も

＜次年度のプランニングに向けての方針＞			
めざす環境像	【将来都市像】 「つむぎ織りなす “環境の都” 長岡京」 【基本理念】 7つの基本理念		現行計画の踏襲
牽引策（案）	“30 年計画” の当初 10 年が過ぎて、次の 10 年に何を？ → 「（仮称）低炭素タウン長岡京構想」		
施策体系（案）	1 低炭素社会の実現	○再生可能エネルギーの活用 ○省エネルギーの推進 ○エコモビリティの推進 ○エコ住宅の普及促進	協働・環境学習・エコアクション ○市民活動のサポート機能の拡充 ○環境学習の推進 ○環境を担う人づくり・人結び
	2 資源循環型社会の形成	○廃棄物の発生抑制・再生利用の推進 ○資源回収の推進 ○廃棄物の適正処理 ○環境美化の推進 ○節水の推進・雨水利用の推進	
	3 自然環境の保全	○西山の保全・再生・活用 ○竹林の保全・再生・活用 ○農業の振興 ○水辺環境の保全・再生	
	4 快適な都市環境づくり	○身近な緑の保全・創出 ○美しい景観づくりの推進 ○歴史的・文化的資源の保全・活用 ○安定した水の供給 ○適切な環境管理	
計画の推進	○行財政マネジメントの仕組みとの連動と労務コストの縮減 ○“環境の都” づくりに向け、計画の進行管理全般への「市民力」の組み込みと体制づくり		